

古川 保

FURUKAWA・TAMOTU

すまい塾古川設計室有限会社 代表取締役／一級建築士／インテリアコーディネーター／造園士

1947年佐賀県生まれ。熊本大学土木工学科を卒業。1992年、すまい塾古川設計室有限会社設立。2000年～2012年、熊本県立大学住環境学にて非常勤講師を勤める。主な受賞歴として、1999年九州建築士会住宅コンペ最優秀賞、2000年JIA第4回熊本建築家の会選考委員賞、2004年熊本の杉の家づくりコンペ優秀賞、2015年・2014年度劇的ピフォーアフター年間大賞他多数。建築ジャーナルにて「古川保のこんなものいらない」「こんなもの欲しい」「伝統工法万歳」を連載中。

宮本 繁雄

MIYAMOTO・SHIGEO

(有) 建築工房悠山想 (福岡県朝倉市) 主宰／一級建築士

2008年～2012年、伝統的構法の設計法作成及び性能、実験検討委員会、構法歴史部会委員、事例調査WG、構造WG。重文民家：新潟県関川町渡邊家、塩田町西岡家、多良木町太田家、奄美大島旧真島家等の構法調査及び構造解析に参画。久留米市建築文化賞、木の建築賞、民家再生奨励賞等を受賞。所属団体：NPO民家再生協会、(一社)木の家ネット、NPO伝統木構造の会、(一社)茅葺文化協会、新建伝統構法の知恵と工夫を現代に活かす設計と構法を求めています。



△古川設計室：池松邸



△(有) 建築工房悠山想：コトリワークス事務所

伝統構法は、クールで新しい！

福岡県朝倉市と熊本県熊本市で伝統的構法による木造建築の設計・施工に携わられている宮本繁雄氏と古川保氏をお招きし、『伝統的構法を現代に活かす』をテーマに講習会を行います。土や和紙などの伝統的な素材を使い、そして伝統的な構法によって快適な住まいを造っているお二人に登壇願ひ、古川流、宮本流の住まい造りの手法を語ってまいります。

講習会の内容は、伝統構法は決して過去の構法ではなく、現代にも充分通ずる構法であることを、事例を紹介しながら、構法、省エネに対してお二人の手法を聞きます。講習の時間は、2時間半を予定しており、作品紹介と技術的な分野の内容とで、前半と後半を分ける予定です。

交通 福岡市立美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6

地下鉄 ■空港線：大濠公園駅 3・6番出口より徒歩10分
(福岡空港駅から15分、博多駅から9分、天神駅から3分)
■七隈線：六本松駅 2番出口より徒歩10分
(天神南駅から8分)

バス ■福岡城・NHK放送センター入口より徒歩3分
■福岡市美術館東口より徒歩3分
■赤坂三丁目より
徒歩5分

日時 令和元年11月10日(日) 13:30 - 16:40

会場 福岡市立美術館1階レクチャールーム

日程

13:30	開場	■第二部
13:35	開会 挨拶と趣旨説明	15:20 伝統構法の現代的意義 (パネルディスカッション)
■第一部		パネリスト：古川保、宮本繁雄
13:40	伝統構法私流：古川保	コーディネーター：土公純一
	伝統構法私流：宮本繁雄	16:20 第二部終了 質疑応答
15:10	第一部終了 休憩	16:40 閉会

申込 九州産業大学 建築都市工学部 住居・インテリア学科
事務室 担当：中村

〒813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1
Email: a-kazuko@ip.kyusan-u.ac.jp
TEL: 092-673-5786 (平日10-16時) / FAX: 092-673-5094

電話、メール、もしくはFAXにて
11月7日(木) までに上記連絡先へ
お申込み下さい。

伝統構法私流
DENTO KOHO WATAKUSHIRYU
宮本繁雄 × 古川保
公益財団法人福岡県建設技術情報センター講習会助成金事業
会場：福岡市立美術館レクチャールーム
主催：九州産業大学 建築都市工学部
住居・インテリア学科松野尾研究室
共催：有限責任事業組合(LLP)木の環
後援：福岡県(予定)